

# 看護部現任教育について

## 1. 看護部現任教育の紹介

掛川市立総合病院の現任教育は昭和 63 年度から行われ 20 年の歴史を持っています。また、設置母体である掛川市は生涯学習宣言をしていることから、当院に勤務する看護職全員が、看護部の理念に基づき教育を受けていることが特徴です。平成 19 年までは、卒後 1 年目から 3 年目を基礎教育とし、それ以降を生涯コースと称し経年別に教育を行ってきました。しかし近年、高校卒業後、大学・短大・専門学校を卒業し、ストレートに看護職につく職員から、一般企業、一般大学を経て看護師を目指した職員、また看護師として働くには、何年かブランクがある職員など様々な背景を持った看護師が当院に就職されるようになりました。様々な背景を持つ看護師個々の成長・発達にはただ単に経年別の教育ではなく看護師個々にあった段階別の教育が必要と考えました。

平成 20 年度から固定チームナースングラダーに基づいて初心者・新人、一人前、中堅、達人、達人 と設定し看護師個々と所属長との話し合いのもとコースを決定し、研修を受けています。

## 2. 教育運営方針

掛川市立総合病院の看護師として、自己啓発に努め、責任をもった看護が提供できる看護師を育成する。

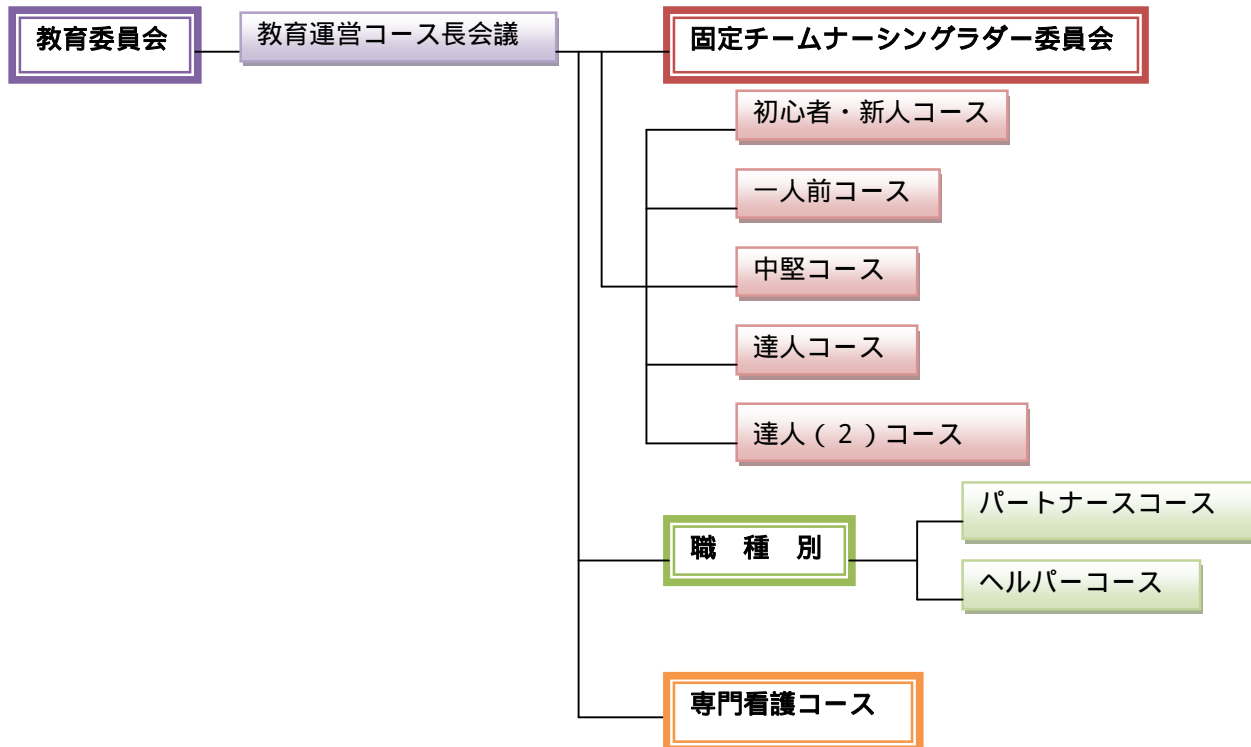
## 3. 目的

- 1) 専門職業人として、看護実践能力、マネジメント能力、看護倫理能力を育成する
- 2) 公務員、社会人としての責任やマナーを育成する
- 3) 豊かな感性を育むことにより、相手の立場を理解し他者とのより良い人間関係を築くことができる

## 4. 目標

- 1) 的確な看護技術が提供できる
- 2) 根拠を持った看護が提供できる
- 3) 看護を検証できる
- 4) 自らが主体的に参加できる
- 5) 自らが役割意識を持って行動できる
- 6) マネジメント能力を高める
- 7) 自らが問題解決に取り組むことができる
- 8) 心地よい接遇ができる
- 9) 公務員、社会人として認識を持ち行動できる
- 10) 自己開示能力について学び実践できる
- 11) 実習病院としての役割を認識し、各々の立場で実習生に関わる

## 5. 看護部教育委員会組織図



教育委員会はコース代表者が参加する委員会をいう

## 6. 看護部教育委員会の考え方

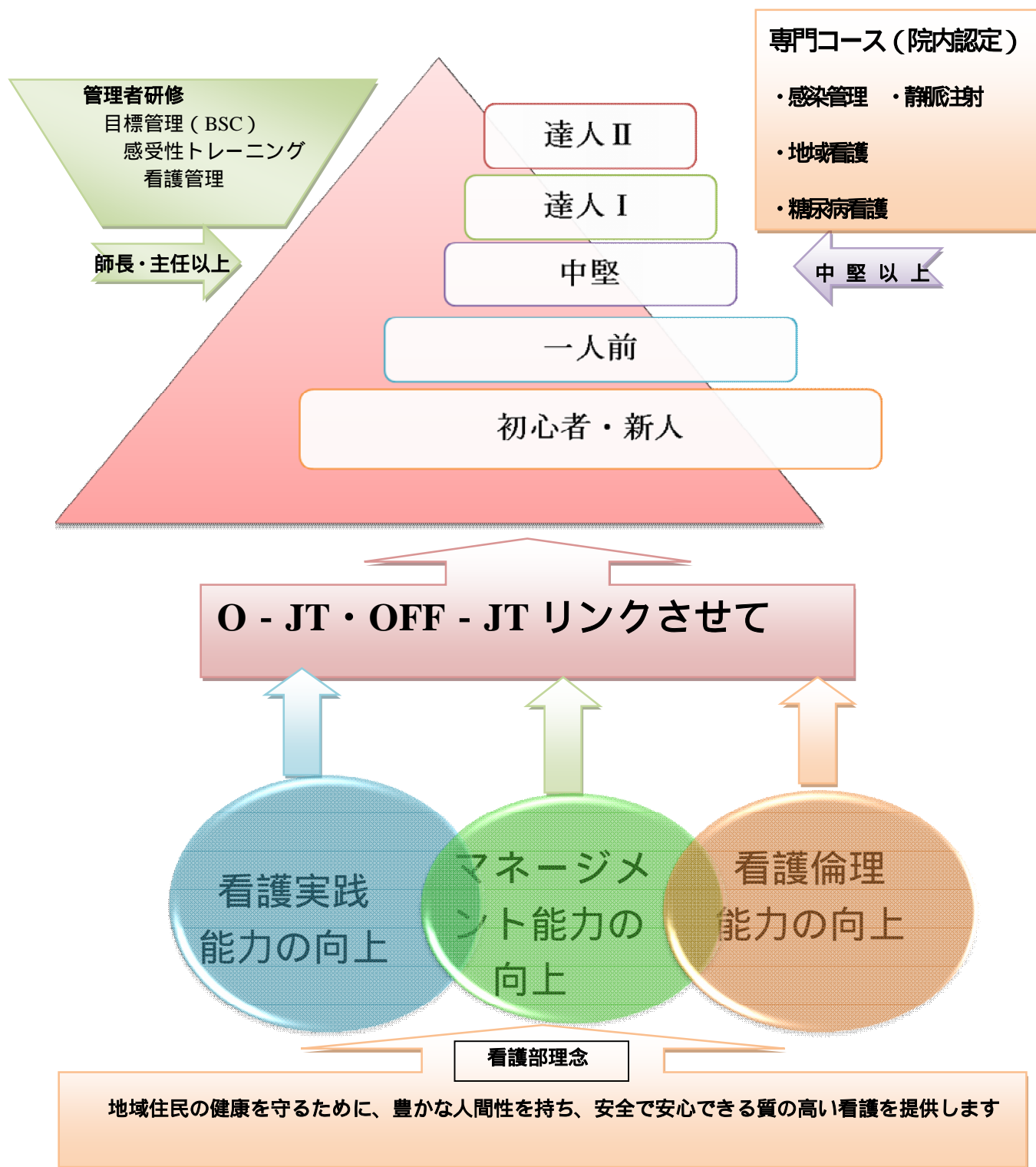
看護部理念を達成するためには、看護実践能力、マネジメント能力、看護倫理能力の向上が必要であると考えています。その3本柱を常に実践の場（O-JT）を通して体験し、その体験を中央研修の場（OFF-JT）で振り返ることにより看護師個々の成長を導きだすことを基盤に考えています。

看護実践能力、マネジメント能力、看護倫理能力を各段階別に達成目標を設定し対象者のレディネスを考えた上で教育内容の抽出を行い、教育計画を立案しました。

また、中堅以上の看護師には、より専門的な視点で看護できることを目指し、院内認定制度を平成21年度より開設していく予定でいます。今年度は、静脈注射院内認定看護師、退院調整院内認定看護師講座を開講することを目標にしています。

主任以上では、管理者としての育成を目指して管理研修を行っています。

## 7. 看護部教育委員会構造図



### 用語の定義

- ・看護実践能力：看護技術、看護記録、アセスメント
- ・マネジメント能力：組織管理（リーダーナース、チームリーダー、部署のリーダーシップ）、受け持ち患者への役割感染管理（感染予防と環境管理）、安全管理（報告、分析、安全行動）
- ・看護倫理：看護者としての態度、尊厳・権利の尊重、守秘義務

## 8 . 平成 21 年度教育内容の紹介

### 段階別目標

#### 中堅

1. チームメンバーの状況を把握しながらチーム活動にメンバー全員が関わられるようにリーダーシップをとることができる
2. 受け持ち患者の看護の展開についてモデルになれるように行動できる

#### 一人前

チームメンバー他職種と協調しながら、患者の立場を尊重した看護実践ができる

#### 初心者・新人

早期に職場適応でき、チームの一員として指導を受けながら看護実践できる

#### 達人

リーダーとして役割モデルを果たすことができ、部署内を円滑に運営できるように調整行動がとれる

#### 達人

部署の問題を明確にして、メンバーと協力して解決できる

1. 深めたい技術を学び、指導計画書を作成して各部署で指導を行う(7月または8月または10月)

1. 各部署やチームで取り組む活動をサポートする。サポート計画を立案し各部署で実践する。実施内容の発表会を行う(7月、11月)  
2. 看護倫理を学ぶ

1. 固定チームナースングラダー評価方法の理解を深める  
毎月1時間

1. ケアのエビデンス、看護計画の見直しのための看護記録の研修(6月)  
2. リーダーシップ・メンバーシップトレーニング(宿泊研修8月)  
3. 多重課題シュミレーション研修(9月または10月)  
4. 4年目以上は自己学習を中心に専門的知識を身につける発表する(11月)

1. 看護技術チェックリスト「看護技術の歩み」を用いて技術確認を行う  
2. 看護の一場面を通して患者との関わりについて学ぶ(宿泊研修7月)  
3. 受け持ち患者の事例検討会(10月)  
4. 1年間の振り返りの会(1月)

中央オリエンテーション



中堅以上 静脈注射院内認定コース

主任・副師長、師長以上  
管理者研修

### 教育内容